

MARVELIC EXCELLENT

施術マニュアル

20251001改訂版

縮毛矯正施術例



QRコードで動画をご覧ください



ヘアカラー パーマ デジタルパーマ 縮毛矯正 マニキュア ブリーチ トリートメント デトックス

高機能の4つの処理剤 EX1 EX2 EX3 EX7

基本的には処理剤1に対して水3の割合で希釈して使用します。(1:3は4倍希釈)

ハイダメージ毛は前処理や乳化・中間処理で EX2 の原液を使用します。

- EX1** 弱アルカリ性のケラチン・ペリセアが主成分の処理剤です。ブリーチ剤やパーマ剤の働きをサポートします。
- EX2** 弱酸性のケラチン・セラミド・ペリセアが主成分の処理剤です。薬剤の働きを妨げず抜群のダメージ補修を発揮します。
- EX3** 酸性のレブリン酸・PCAが主成分の処理剤です。アルカリを強力に除去しキューティクルを整え頭皮を健やかにします。
- EX7** 中性のヘマチン・メドウフォームδラクトンが主成分の処理剤です。過酸化水素を除去し髪のダメージを補修します。

EX5 キトサンが主成分の処理剤です。原液でカラー剤やトリートメント剤と併せて使用すると艶がアップします。

化粧品分類のカーリング料 1N 1H 1V 2B デザイントリートメント

還元剤はチオグリコール酸システアミン+システアミン

優れたデザイン性と優れたダメージ補修を高次元で両立させました。

最新のダメージ補修成分であるキューティンαとファイバーハンスを高配合しました。

- 1N** ローションタイプ(ノーマル)です。カール・ストレート・デジタルパーマ兼用です。
- 1H** クリームタイプ(ハード)です。ストレート・デジタルパーマ兼用です。
- 1V** クリームタイプ(ベリーハード)です。ストレート・デジタルパーマ兼用です。
- 2B** ローションタイプ(プロム酸)です。カール・ストレート・デジタルパーマ兼用です。

※マーベリック製品をご使用して頂く場合は下記の点にご注意ください。

ヘナで染毛された髪にはご使用にならないでください。

ハーブ・漢方・香草・タンパク質などが配合されたカラー剤は染毛を妨げる可能性があります。

マーベリックのホームページで動画マニュアルをご覧ください。 ホームページQRコード



ヘアカラー

1



●毛髪診断

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●前処理

EX2 (原液) をフェイスラインと頭皮と地肌に塗布します。

カラー剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。

乳化の時にフェイスラインと頭皮と地肌に残ったカラー剤が簡単に取れます。

2



カラー剤塗布

放置

●酸化染料カラー剤

カラー剤(1剤+2剤)に対して EX2 (原液) を10%添加します。

ハイダメージ部分は更に EX5 を5%添加します。

●カラー剤塗布・放置

毛髪診断に基づいてカラー剤を塗布します。塗布後放置します。

●カラーチェック

染まりが甘い部分があった場合は EX2 を塗布しもみ込むと発色が促進されます。

3



●乳化

※髪に付いているカラー剤は流さないでください。

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

EX7 → EX2 の順で髪と頭皮と地肌に塗布し丁寧にもみ込みます。

次に EX3 を髪と頭皮と地肌に塗布し丁寧にもみ込みます。

毛先がハイダメージの場合はトーンダウンしやすいので EX2 を塗布後すぐに EX3 を塗布します。

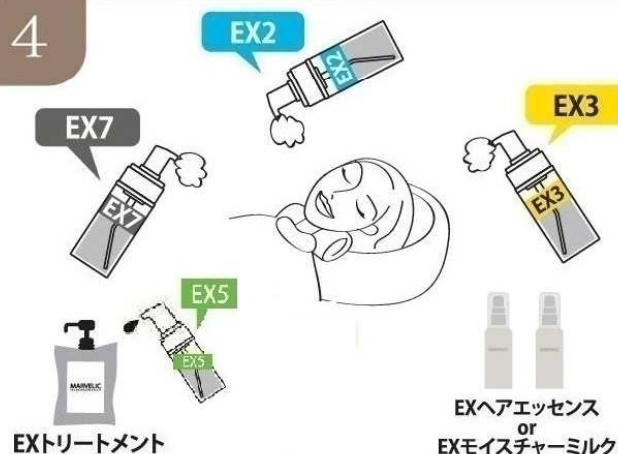
頭皮と地肌にもみ込むと頭皮と地肌に付いたカラー剤が簡単に取れます。

※希釈率を変えると硬い髪にしなやさを軟らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛は EX2 を6～8倍希釈で軟毛は EX2 を原液～2倍希釈で!

●シャンプー

4



EXトリートメント

EXヘアエッセンス
or
EXモイスチャーミルク

●後処理 ※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧にもみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧にもみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーブドライの後、EXヘアエッセンスとEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

パーマ

1



●毛髪診断

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●前処理

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

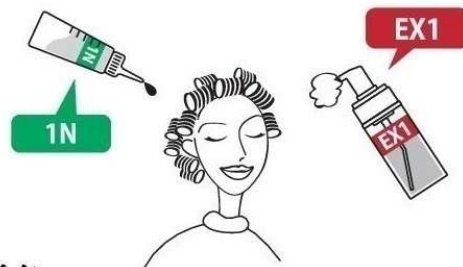
ミドルダメージやローダメージ部分は EX2 を塗布します。

フェイスラインなどデリケートな新生毛は EX2(原液) を塗布します。

EX2(原液) を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。

前処理の後ハーフドライします。

2



●1剤 1N 塗布

水巻またはつけ巻きで 1N を塗布します。

●ワインディング

ワインディングの後、根元に EX1 を塗布すると根元が立ち上がります。

●加温または放置

毛髪診断に基づいて加温または放置します。

放置時間は8~10分が目安です。※オーバータイムに注意してください。

●テストカール

●中間水洗

中間・毛先だけワインディングした場合はロッドが外れないようにアプリーケーターにお湯を入れて 1N を洗い流してください。

3

髪質改善

重要



●中間処理

タオルドライの後 EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。

EX7 と EX2 を塗布後5~10分クリップするとしなやかでハリのあるパーマが再現できます。

希釈率を変えると硬い髪に柔らかさを軟らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6~8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液~2倍希釈で使用します。

4



●2剤 2B 塗布

最初に EX3 を塗布し余分な水分をタオルドライでしっかり取ります。

次に 2B を2度付けします。7分+7分放置します。

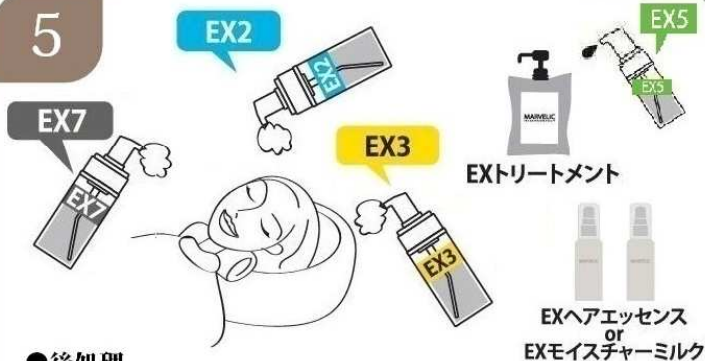
2B に MPLEX1 を5%添加するとダメージ補修効果がアップします。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

●ロッドアウト

●水洗

5



●後処理

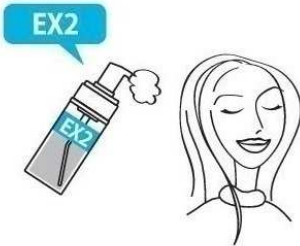
タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に
丁寧に
もみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを
毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーフドライの後、EXヘアエッセンス
とEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

縮毛矯正

1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●前処理

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ミドルダメージやローダメージの部分は EX2 を塗布します。

フェイスラインなどデリケートな新生毛は EX2(原液) を塗布します。

EX2 をフェイスラインと頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。

EX2 EX2(原液) を塗布後ハーフドライします。

2



放置又は加温の目安

1V 新生毛10～30分 加温又は放置 ※1参照

1H ローダメージ毛5～15分 加温又は放置

1N ミドルダメージ毛5～10分 放置

1N + EX3 ハイダメージ毛1～5分 放置

●1剤 1V 1H 1N 塗布

毛髪診断に基づいて1剤を選択します。

根元・中間・毛先は時間差を設けて塗布します。

1剤を塗布後ラップします。

根元ギリギリに1剤を塗布しても根元が折れることはありません。

毛先がハイダメージ毛の場合は 1N + EX3 を塗布します。 ※2参照

●放置又は加温

3



●還元軟化チェック

還元軟化が不十分だとクセが取れなかったりアホ毛が出たりします。

●中間水洗

●中間処理

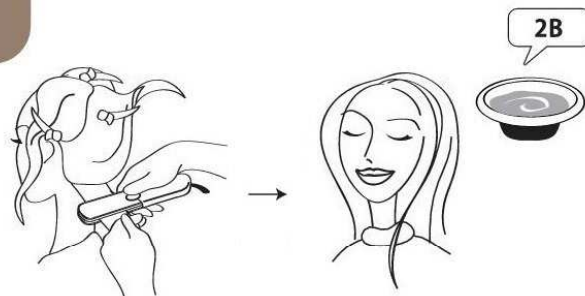
タオルドライの後 EX7 と EX2 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

EX7 と EX2 をもみ込んだ後 EX3 を塗布しもみ込みます。

※2剤が過酸化水素の場合は EX3 を塗布しないでください。

4



●アイロン

完全ドライの後、ヘアアイロンで整えます。

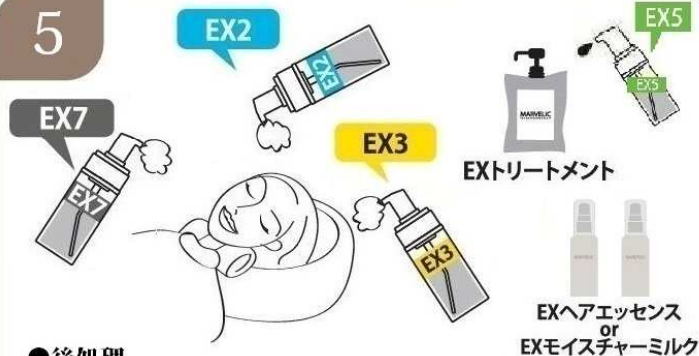
ヘアアイロンの温度は150℃以下を推奨します。

●2剤 2B 塗布

2B を塗布します。2回付け 7分+7分放置

※2剤を塗布しないで続けてヘアカラー（酸化染料カラー剤）を施術するとカラー剤の2剤が縮毛矯正の2剤を兼用します。

5



●後処理

タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを
毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーフドライの後、EXヘアエッセンス
とEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

※1

新生毛でも髪質によっては 1H で還元軟化が可能な場合があります。

※2

ハイダメージの場合は 1N に EX3 を10%添加します。

ビビリ毛の場合は 1N に EX3 を20%添加します。

1N に EX3 を5%添加 pH7.0 (中性)

1N に EX3 を10%添加 pH5.8 (弱酸性)

1N に EX3 を20%添加 pH3.5 (酸性)

後処理でEXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

動画マニュアルをご参照ください。



デジタルパーマ

1



●毛髪診断

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●前処理

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

ミドルダメージやローダメージの部分は EX2 を塗布します。

EX2 を頭皮に塗布すると1剤の刺激を緩和します。

EX2(原液) EX2 を塗布後ハーフドライします。

2



●1剤 1H 1N 塗布

毛髪診断に基づいて 1H 1N を選択し塗布します。

根元・中間・毛先は時間差を設けて塗布シラップします。

●放置又は加温

1H 新生毛・ローダメージ毛5～20分放置又は加温

1N ミドルダメージ毛5～10分放置又は加温

1N + EX3 ハイダメージ毛1～5分放置 ※1参照

●還元軟化チェック

●中間水洗

3



●中間処理

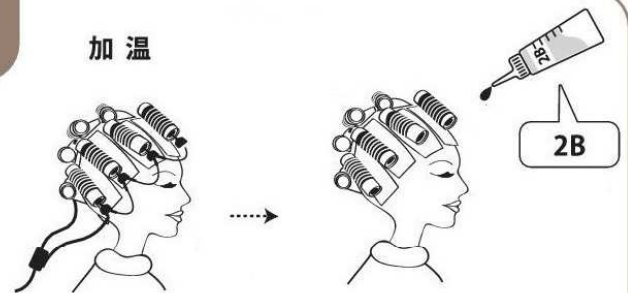
タオルドライの後 EX7 と EX2 を全頭に塗布します。

ハイダメージ部分は EX2(原液) を塗布します。

EX7 と EX2 をもみ込んだ後 EX3 を塗布しもみ込みます。

※過酸化水素の2剤を使用する場合は EX3 を塗布しないでください。

4



●ワインディング

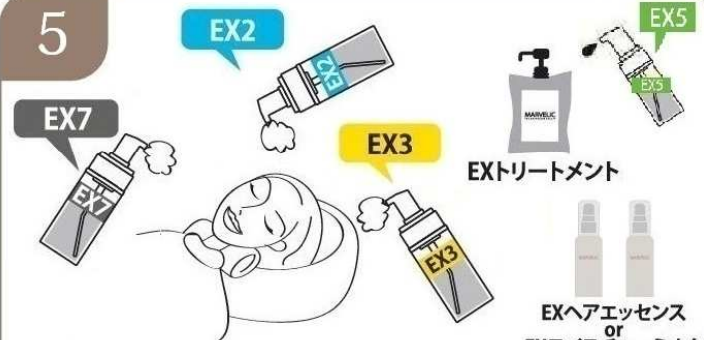
●通電 → 加温 → 通電終了

●2剤 2B 塗布

2B を塗布します。2回付け 7分+7分放置

●ロッドアウト

5



●後処理

タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを
毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーフドライの後、EXヘアエッセンス
とEXモイスターミルクを塗布して仕上げます。

※1

ハイダメージの場合は 1N に EX3 を10%添加します。

1N に EX3 を5%添加 pH7.0 (中性)

1N に EX3 を10%添加 pH5.8 (弱酸性)

1N に EX3 を20%添加 pH3.5 (酸性)

後処理でEXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

ブリーチ

1

EX1



●毛髪診断

●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●前処理

EX1 をブリーチを施術する部分に塗布します。

EX1 をフェイスラインと頭皮と地肌に塗布します。

ブリーチ剤の刺激を緩和します。プロテクトクリーム不要です。

EX1 を塗布後完全ドライします。

2

ブリーチ剤塗布

ブリーチ剤



放置

●ブリーチ剤塗布

●放置

●チェック

●水洗

ブリーチ剤が残らないように丁寧に水洗します。

3

髪質改善

EX2 (原液)

重要

EX7



EX3



●乳化 (中間処理)

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

タオルドライの後 EX7 を塗布し更に EX2 (原液) を塗布します。

EX7 と EX2 (原液) をもみ込んだ後 EX3 を塗布しもみ込みます。

●シャンプー

※ダブルカラーを施術する場合はシャンプーしないでください。

EX7 EX2 EX3 を塗布した状態でドライします。

4

EX2

EX7



EX3



EXトリートメント



EXヘアエッセンス
or
EXモイスチャーミルク

●後処理

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に

もみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に

もみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを

毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーフドライの後、EXヘアエッセンス

とEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

マニキュア

1

EX1



●プレシャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから頭皮を擦らずにシャンプーします。

●毛髪診断・前処理

ハーフドライの後 EX1 を塗布します。

マニキュアが塗布しやすい程度にドライします。

2

マニキュア剤



加温または放置



●マニキュア剤塗布

●加温又は放置

●カラーチェック

3



EXトリートメント



EXヘアエッセンス
or
EXモイスチャーミルク

●シャンプー

お湯でしっかり予洗いを行ってから EXシャンプーでシャンプーします。

●トリートメント

EXトリートメントを塗布し、チェンジリンスの後ハーフドライします。

EXヘアエッセンスとEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

ダブルカラー オンカラー

1

カラー剤塗布 放置



●前処理

EX2 (原液) をフェイスラインと頭皮と地肌に塗布します。

●酸化染料カラー剤

カラー剤(1剤+2剤)に対して EX2 (原液) を10%添加します。

ハイダメージ部分は更に EX5 を5%添加します。

●塩基性染料カラー剤

※塩基性染料カラー剤にはEX2やEX5は添加しません。

●カラー剤塗布

最初に酸化染料カラー剤を塗布し放置後、カラーチェックします。

次に塩基性染料カラー剤を塗布し放置後、カラーチェックします。

※トーンダウンすることがあるので放置時間とカラーチェックは慎重に行ってください。

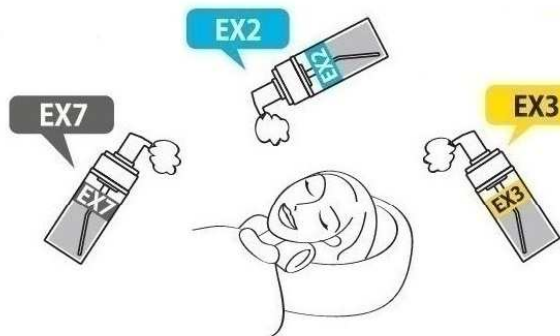
●水洗

※水洗しないと乳化でトーンダウンすることがあります。

2

髪質改善

重要



●乳化

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

タオルドライの後 EX7 を塗布し更に EX2 を塗布します。

EX7 と EX2 をもみ込んだ後、EX3 を塗布しもみ込みます。

頭皮と地肌にもみ込むと頭皮と地肌に付いたカラー剤が簡単に取れます。

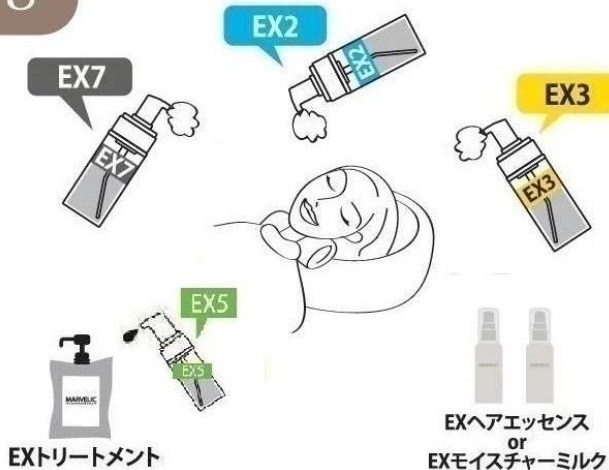
※希釈率を変えると硬い髪にしなやかさを軟らかい髪にハリコシを与えます。

硬毛の場合は EX2 を6～8倍希釈で使用します。

軟毛の場合は EX2 を原液～2倍希釈で使用します。

●シャンプー

3



●後処理

※シャンプーボウルにお湯を溜めないでください。

タオルドライの後 EX7 と EX2 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込み5分放置します。次に EX3 を塗布し髪と頭皮と地肌に丁寧に
もみ込みます。EX7 EX2 EX3 を流さないでEXトリートメントを
毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに EX5 を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスの後軽く水洗します。ハーフドライの後、EXヘアエッセンス
とEXモイスチャーミルクを塗布して仕上げます。

※酸化染料カラー剤と塩基性染料カラー剤の組み合わせについては
カラー剤メーカーにお問い合わせください。

※ダブルカラーで退色が少なく持続性が長いのはホームケアでマー
ベリックEXシャンプーをご使用頂いた場合です。

ホームケアで他社製のシャンプーをご使用の場合は持続性が劣り
退色する場合がございますのでご注意ください。

デトックス

1



EXシャンプー

●予洗い

お湯で頭皮を中心に3分以上しっかり予洗いをします。

●プレシャンプー

2回シャンプーします。

シャンプーを頭皮と髪に馴染ませ泡立ててから

頭皮を優しくマッサージするようにシャンプーします。

シャンプー剤をしっかり流します。

2



EX7



EX2

●処理剤塗布 ヘマチン・ケラチン・セラミド・ペリセア

タオルドライの後、ハイダメージ部分に **EX2(原液)** を塗布し丁寧にしみ込みます。

次に **EX7** と **EX2** を髪と頭皮と地肌に塗布し丁寧にしみ込みます。

粗齒のコームで良く馴染ませ5分放置します。

3



EX3

●酸リンス剤塗布 レブリン酸・PCA

EX3 を髪と頭皮と地肌に塗布し丁寧にしみ込みます。

粗齒のコームで良く馴染ませ5分放置します。

4



EX5

EXトリートメント

EXヘアエッセンス
or
EXモイスターミルク

●トリートメント剤塗布

EX7 **EX2** **EX3** を洗い流さないで

EXトリートメントを毛先を中心に塗布します。

EXトリートメントに **EX5** を5%添加すると艶がアップします。

チェンジリンスして水洗します。

タオルドライの後、EXヘアエッセンスとEXモイスターミルクを塗布し仕上げます。

薬剤を毛髪や頭皮から完全に取り除くことで半永久的に

「退色しない」「リッジがダレない」を実現できます。

※フィニッシングでしっかり水洗しても過酸化水素やアルカリ剤が残留します。

残留した過酸化水素やアルカリ剤が退色やリッジのダレの原因になります。

※詳しくはホームページの動画マニュアルをご参照ください。